

環境

ECO MAGAZINE

No.

336

竣工記念特集

新水島埋立処分場

●インタビュー

財団法人 岡山県環境保全事業団
理事長 関谷洋輔



夏のエコイベントへ行こう!
キャンドルナイト in おかやま

見たい知りたい 自然探検隊
西川の生きもの

NEXT STEP
環境移動学習車 さんよう号
見て触って体験して、環境問題を楽しく学ぼう!

実践! エコライフ
手作り廃油キャンドル

古き良きエコのはなし
「団扇(うちわ)」

財団法人
岡山県環境保全事業団

●●● INFORMATION ●●●

Event

環境学習センター「アスエコ」 夏のスペシャルイベントのご案内

お申し込みはお電話で!
TEL.086-224-7272

- | | | |
|--|---|--|
| <p>7/4 古布で作ろう♪ふわふわ布ぞり
(土) 10:00~13:00
参加費 ¥0
対象 親子(小学生以上)、一般
定員 20名</p> | <p>7/28 セミと緑の探検隊 in 西川緑道公園
(火) 9:00~11:00
参加費 ¥0
対象 親子(小学生以上)、一般
定員 30名</p> | <p>8/23 お魚調査隊 in 西川緑道公園
(日) 10:00~12:00
参加費 ¥0
対象 親子(小学生以上)、一般
定員 30名 協力:岡山淡水魚研究会、岡山生物多様性勉強会</p> |
| <p>7/11 魔法の水とお天気の話
(土) 10:30~12:00
参加費 ¥100
対象 親子(小学生以上)、一般
定員 20名</p> | <p>7/30 旭川河流れ隊
(木) 9:00~16:00
参加費 ¥500
対象 親子(小学生以上)、一般
定員 45名</p> | <p>8/25 竹で手作り♪昆虫クラフト教室
(火) ①10:00~12:00 ②15:00~17:00
参加費 ¥300
対象 親子(小学生以上)、一般
定員 各20名</p> |
| <p>7/21 世界に一つ♪小鳥のブローチ作り
(火) 10:00~12:00
参加費 ¥500
対象 親子(小学生以上)、一般
定員 15名</p> | <p>8/4,6 アスエコ親子学習会バスツアー
①(火)②(木) 9:00~16:00
参加費 ¥500
場所 水島処分場
対象 親子(小学生以上)、一般
定員 各40名</p> | <p>8/27 木工クラフト教室 in アスエコ
(木) ①10:00~12:00 ②15:00~17:00
参加費 ¥0
対象 親子(小学生以上)、一般
定員 各20名</p> |
| <p>7/23 ツリーイング in 西川緑道公園
(木) 9:00~11:00
参加費 ¥500
対象 親子(小学生以上)、一般
定員 20名</p> | <p>8/11 木の芸術☆クラフト版画教室
(火) 10:00~12:00
参加費 ¥0
対象 親子(小学生以上)、一般
定員 20名</p> | <p>9/12 新聞紙で作ろう☆エコバッグ
(土) 10:30~12:00
参加費 ¥0
対象 親子(小学生以上)、一般
定員 20名</p> |
| <p>7/25 昆虫写真家、栗林慧先生と西川を歩こう!
(土) 9:00~10:00
参加費 ¥0
対象 子ども(小学生以上)
定員 20名</p> | <p>8/18 ネイチャーゲーム in 西川緑道公園
(火) 9:00~11:00
参加費 ¥0
対象 親子(小学生以上)、一般
定員 20名 協力:岡山県ネイチャーゲーム協会</p> | <p>9/19 ネイチャーゲーム in 里山センター
(土) 14:00~16:00
参加費 ¥0
対象 親子(小学生以上)、一般
定員 20名</p> |
| <p>栗林慧先生のビックリ昆虫トークライブ
(土) 11:00~12:30
参加費 ¥0
場所 西川アイプラザ 5F多目的ホール
対象 親子(小学生以上)、一般
定員 250名</p> | <p>8/20 ツリーイング in 里山センター
(木) 9:00~11:00
参加費 ¥500
対象 親子(小学生以上)、一般
定員 20名 共催:里山公園里山センター 協力:ツリーイングクラブ「遊木舎」</p> | <p>9/26 秋の里山探検隊 in 操山
(土) 10:00~13:00
参加費 ¥200
対象 親子(小学生以上)、一般
定員 20名 共催:操山公園里山センター</p> |

【お問い合わせ・お申し込み】財団法人 岡山県環境保全事業団 環境学習センター「アスエコ」
〒700-0907 岡山市北区下石井2丁目2-10 TEL.086-224-7272 FAX.086-224-7273
開館時間:午前10時~午後6時(午後1~2時はお休み) 休館日:日曜、祝日、年末年始

※スペシャルイベントはアスキーバー会員対象。会員以外の方は当日までに会員登録していただければご参加いただけます。

アスエコ
後援:岡山市、岡山市教育委員会

Event

自然保護センターから定例観察会・特別企画のご案内

ハッチョウトンボ

定例観察会 定例観察会は事前の申し込みは不要です。毎週日曜日(10時~12時)に開催します。センター棟前に午前10時までに、お集まりください。

7月

- 5日 里山のきのこ 梅雨の頃に発生する夏のカラフルな色のきのこをさがしてみよう
- 12日 里山の植物 ネムノキやネジバナなど梅雨の頃に咲く花を観察してみよう
- 19日 湿原の昆虫 ハッチョウトンボはどんな場所に棲み、どんな行動をするのでしょうか?
- 26日 水辺の昆虫 ショウジョウトンボやキイトンボなど、夏の水辺で見られるとんぼをさがしてみよう

8月

- 2日 里山の昆虫 センターで鳴いているせみを見つけよう
- 9日 水辺の昆虫 オニヤンマはどんな場所に産卵するのでしょうか?
- 16日 湿原の植物 サギソウやマルバオモダカを観察してみよう
- 23日 里山の植物 ツリフネソウやミスオオバコなどたんぽのまわりに咲く花を観察してみよう
- 30日 里山の植物 オミナエシヤカワラナデシコなど秋の七草を観察してみよう

特別企画等 事前の申し込みが必要です。7月25日(土) 特別企画「星空大観望会」夏の夜空・天の川のほとりの天体をじっくり眺めてみませんか
8月 2日(日) 友の会主催「タンチョウ写生大会」タンチョウのお話と写生大会・クラフト教室もあるよ

【お問い合わせ・お申し込み】岡山県自然保護センター 和気郡和気町田賀730 TEL.0869-88-1190 FAX.0869-88-1195 休所日:毎週火曜日、祝日の翌日

環境

発行日 平成21年6月17日
発行所 財団法人岡山県環境保全事業団 〒701-0212 岡山市南区内尾665-1
TEL 086-298-2122(代) FAX 086-298-2496 http://www.kankyo.or.jp/

お便り募集!!

ご意見・ご感想・あなたのエコアイデアなどを募集しています。送り先は、stopco2@kankyo.or.jpまで。



この冊子の印刷にかかる電力は、グリーン電力で100%まかなわれています。

新水島埋立処分場



施設・設備の概要



風力発電

太陽光発電



◀ **水島管理事務所**
 処分場の管理運営を行う事務所。屋上には太陽光発電、風力発電施設が設置され、事務所内の電力の一部を賅っている。入り口にはモニターが設置され、発電量の様子を見ることができる。



発電量監視モニター

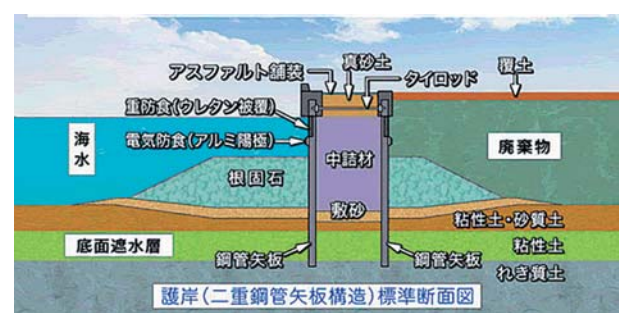
新水島埋立処分場 (第2処分場)

管理型最終処分場。埋立面積約23万m²、埋立容量約240万m³。



▲ 浮棧橋

浮棧橋からトラックで所定の高さになるまで廃棄物を何層かに分けて投下し、その後ブルドーザーによる撒出し工法で埋立をしていく。



◆ **安心の二重壁護岸構造**
 処分場は9m幅の二重壁構造と底面遮水層で囲まれ、浸出水などが絶対に外に漏れることのないようにしている。

竣工式

4月13日、岡山県知事、倉敷市長をはじめとする多くの来賓、各種協力機関の関係者、岡山県環境保全事業団職員等が一堂に会し、新処分場の竣工式が行われました。

式典 水島管理事務所で行われました。



式辞(関谷理事長)
 「各関係機関の協力のもと、相互の連携を密にしながら、安全管理を徹底して工事を進行、予定より1か月早く竣工できました」と、理事長。



建設に携わった各関係機関に感謝状が贈呈されました。

来賓祝辞(石井知事)

「資源循環型社会推進のために、3Rの推進、廃棄物の適正処理を中心に活動啓発をしていきたい」という内容とともに、「産業活動の中での公共関与による安全性の高い埋立処分場に、大きな意義がある」と、県知事。



セレモニー 新水島埋立処分場(第2処分場)で行われました。



浮棧橋から廃棄物が投入されました。



テープカット

石井知事、伊東倉敷市長をはじめ、来賓と事業団の関谷理事長によるテープカットで完成を祝いました。

平成21年4月、岡山県最大規模の新水島埋立処分場(第2処分場)が埋立開始！岡山県内で1年間に埋立処分される産業廃棄物の量のおよそ半分にあたる25万トン埋立処分する、私たちの生活の基盤である県内の事業活動を支える存在です。県内で発生し搬入された産業廃棄物を安定的かつ適正に処理する新処分場の仕組みを紹介します。

水島処分場の沿革

「処分場がなぜ必要なのか」、「処分場がどんな役割を果たしているのか」... 岡山県の廃棄物処理事業の根幹を支えてきた、処分場の30年の歴史を、改めて振り返ります。



昭和52年 3月31日
(1977年)

産業廃棄物埋立処分場護岸工事着工
公害問題が大きな社会問題となっていた背景から、公共関与による「安心・安全」な廃棄物処理事業として、水島第1処分場の建設がスタートしました。

昭和54年 2月28日
(1979年)

護岸完成
水島工業地帯の南側の海に、埋立処分場が完成。

産業廃棄物埋立処分場開始、水島管理事務所発足

昭和61年 10月22日
(1986年)

第1工区埋立完了
(254,580平方メートル)

平成5年 9月24日
(1993年)

第2工区埋立完了
(342,000平方メートル)

平成8年 4月1日
(1996年)

倉敷市資源選別所事業開始
倉敷市内から出される空きびんを資源として再利用するため、選別を行っています。

平成11年 4月1日
(1999年)

水島クリーンセンター供用開始
下水汚泥と高カロリー廃プラスチック類を混焼することにより廃棄物の減量化・安定化を図るとともに、汚泥焼却に係る燃料を節約し、さらに焼却にともなう熱エネルギーを電気に変え有効利用しています。

平成18年 12月26日
(2006年)

水島ゴルフリンクス営業開始
埋立処分場の跡地に、土地の有効利用を目的に水島ゴルフリンクスが整備されました。

平成21年 2月27日
(2009年)

第2処分場護岸工事開始
民間処分場が減少傾向になる中、第1処分場の埋立残余年数が少なくなり、引き続き埋立事業を継続するために、新たな処分場建設に向けて工事を開始しました。

平成21年 2月27日
(2009年)

第2処分場護岸工事完成
護岸の基礎工事から本体工事、遮水工事、上部工事の4つの工事が相互に連携し、安全管理の徹底のもと、予定より1カ月早く竣工することができました。

平成21年 4月
(2009年)

第2処分場埋立開始

埋立前の水島第1処分場 ▶
約96万㎡の埋立面積、約1,300万㎡の埋立容量を持つ。



◀ 第1・第2工区埋立完了
ゴルフ場ができる前の水島処分場。



カレット



選別ライン



リターナブルびん

▲ 倉敷市資源選別所
選別ラインでは手作業でリターナブルびん、色別のカレットに分けられ、それぞれ再生工場へ搬出される。



▲ 新処分場護岸工事完成

水に沈む汚泥やがれき類などを先に埋立て、干陸した部分に廃プラスチック類や廃石綿などの水に浮くものを順次埋立していく。



▲ 水島ゴルフリンクス

跡地利用として整備されたゴルフ場。一般の方に広く開放している。



▲ 水島クリーンセンター

流動床式連続焼却施設。
焼却能力：下水汚泥209t/日
廃プラスチック類66t/日
毎日24時間、職員が交替で安全運転を維持する。



汚泥プラットフォーム



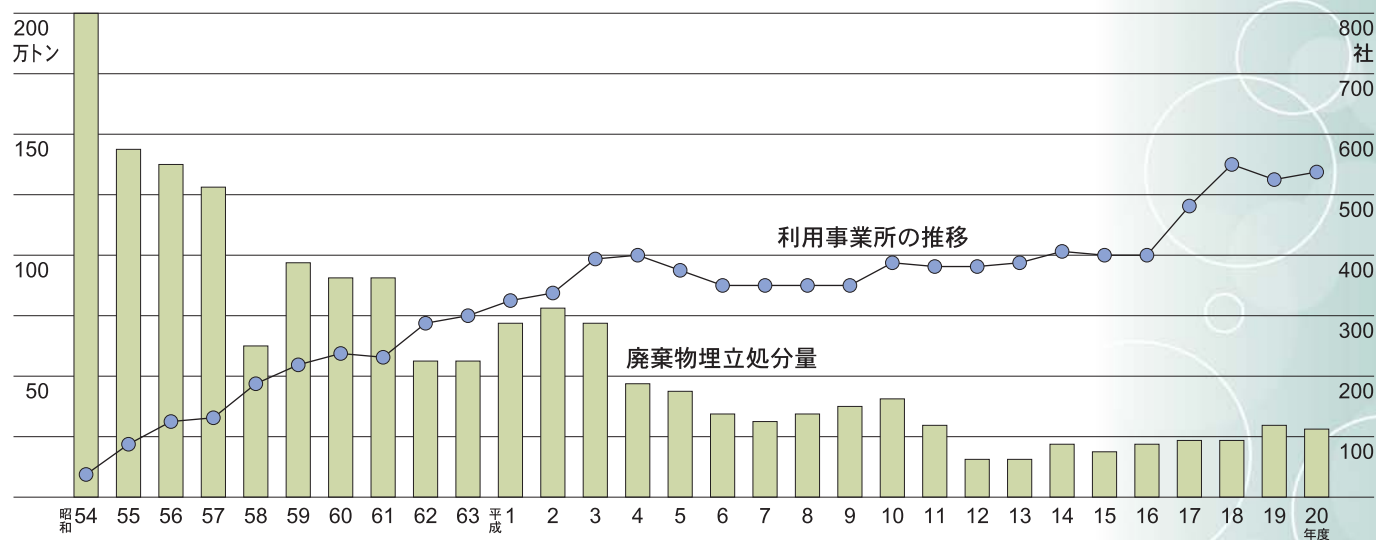
廃プラスチックピット



旋回型流動床焼却炉

廃棄物埋立処分量と利用事業所の推移

利用事業所数は増加しつつも、廃棄物減量化、資源の再利用など企業努力により、埋立処分量は年々減少し、ここ数年では横ばい傾向となっています。



廃棄物の受け入れから処理処分までの概要

廃棄物の適正処理は年々クローズアップされ、安全かつ適正に処理されることは、現代社会の重要な問題となっています。岡山県環境保全事業団では、法令に基づいた正しい方法で廃棄物を処理し、環境汚染防止に細心の注意を払いながら、処理処分事業を行っています。

1 事前審査(受入審査)

水島管理事務所の受付に申込書を提出。書類審査及び現地審査を行います。

①書面によるチェック
事業所の概要、廃棄物の性状、運搬計画などの審査を行います。



②発生現場でのチェック

廃棄物の発生プロセスが書類と同じかどうか検証したり、分析による確認を行うなど、事前検査を通してより一層の安全を確保します。

③排出事業者と契約を締結

2 搬入

廃棄物の計量、性状の目視検査、火災防止の為に温度測定、抜き取り検査などを行います。

●計量ゲート

廃棄物量を把握するための計量、火災防止のための温度測定、性状の目視検査など、搬入される廃棄物の受入基準の適否についてチェックします。



監視カメラ・放射温度計

●排水処理場

排水基準をクリアするきれいな水に処理して排水しています。



●洗車ピット

処分場の道路に散水して埃を防ぐだけでなく、処分場を出る前に運搬車のタイヤを洗い、周辺の環境管理に努めています。



3 埋立処分

指定された場所に荷おろし後、検査を受けて安全性を確認し、埋立処分されます。

●安全管理

廃棄物の温度を測定し、危険性がないことなどを確認します。



●抜取検査場

運搬車から廃棄物を抜き取り、分析結果が判明するまで廃棄物を一時保管します。



4 環境保全

自然環境の破壊や二次公害が発生しないよう、環境保全に万全の体制で臨んでいます。

巻頭特集インタビュー

排出業者と協力し、安心・安全な処分場の利用を期待

社団法人岡山県産業廃棄物協会
事務局長 安藤勤さん

社団法人岡山県産業廃棄物協会は岡山県内の収集運搬業者や中間処理業者ならびに最終処分業者を正会員とする公益法人です。近年、廃棄物の排出抑制と再利用が推進されるとともに、昨今の経済情勢の急速な悪化にもない、私たちが協会の会員が取り扱う廃棄物も減少傾向にあります。また、廃棄物処理業者数の推移を見ますと、以前と比べてこちらもやや減少傾向にあります。しかし、企業努力や技術が進んでも依然として再利用できない廃棄物もあり、それは最終処分場で埋立することになります。最終処分場は、当たり前ですが容量が限られています。この残余容量がなくなれば、中間処理も成り立ちません。つまり、業界全体が廃棄物処理の減量化、再資源化を工夫し、お互いがうまく発展していくことが



社団法人 岡山県産業廃棄物協会
産業廃棄物処理業の新規許可、更新講習会の申請手続き、諸届、産業廃棄物処理対策等についての相談指導を行う。法律で義務付けされている「産業廃棄物管理票(マニフェスト)」、岡山県環境保全事業団専用の「管理票」も頒布している。

〒701-1152 岡山市北区津高628-6
TEL. 086-254-9383 (代)
FAX. 086-254-8766

重要なのです。こうした状況下において、事業団の新しい処分場が完成したことは、私たちにとても大きな喜びであり、大規模な処分場が安定的に使えるということは、全国的にも珍しく、業界にとつて大変有り難いことと、再認識します。処分場は竣工がゴールではなくスタートです。今後とも、利用しやすく、無事故で安心して協会員が永続的に使えるような処分場であつてほしいと思います。そのために、産業廃棄物業界でも協力し合い、埋立予定期間の11年間を安心して使っていきたいと思っています。



巻頭特集インタビュー

県民の生活を支える存在へ

財団法人岡山県環境保全事業団 理事長 関谷洋輔



PROFILE

株式会社クラレにて37年間勤務、生産管理・製品開発に携わる。2009年、岡山県環境保全事業団理事長就任。

県民の安心を支える 県内最大規模の最終処分場として

平成21年4月、倉敷市水島地区に岡山県環境保全事業団が建設を進めていた公共関与新処分場が竣工し、埋立がスタートしました。岡山県内における最終処分場としては最大規模のものとなります。新処分場は、「責任を持って安心、安全に埋立処分をする」ということを目標として管理運営することとしています。かつては廃棄物が海や山へ不法投棄され、近隣へ被害が及ぶなどの問題が発生したこともありましたが、廃棄物処理事業こそ、私たちが安心できる生活を確実に守るための大事な事業なのです。さらに、当事業団の既存処分場の残余年数はあと僅か。県内の民間処分場は減少傾向にあり、その中で新処分場の確保は、事業団として最大の役割だと認識しています。

また、この度の竣工は単なる通過点に過ぎません。受け入れ時の廃棄物の確認、浮れ橋を用いた廃棄物の投入について十分なチェックを行い、業務の安全性を確保していかねばなりません。また、その後も、周辺の水質・大気調査を実施するなど、環境に配慮した管理運営が必要だと考えています。

新処分場の建設には107億円を投入しており、今後は維持費とともに、次の処分場建設のための資金積立も必要となります。より効率的に運営するために無駄を省き、常に環境保全のための技術の追求し続けるとともに、処分場の運営に当たつても、利用される方が満足されるよう十分な説明と対応を心がけています。

ゴミ削減意識を積極的に高め、一人ひとりの活動で未来を守る

一方、一般家庭においてもゴミを削減し、資源やエネルギーの無駄を省き、これを有効活用することはきわめて大切なことです。当事業団においても、岡山市の中心部に設置している環境学習センター「アスエコ」において、学校や家庭、地域での3R(リデュース、リサイクル)の推進、温暖化防止の普及など様々な活動を通して、県民の方々の意識向上やPRに取り組んでいます。環境家計簿などいろいろな手段を示せば、各自合った方法で楽しみながら、ゴミの削減と省資源、省エネルギーに取り組むことができる

でしょう。このことが地球温暖化防止をはじめとする様々な環境保全につながっていくと思います。

また、近年では企業も環境意識も高まり、企業の環境活動の成果を示した環境レポートが多く報告されている他、産業界では物流も含め、原料生産から廃棄までトータルな環境への影響評価「LCA(ライフサイクルアセスメント)」を考えた流れができています。私たち消費者も、環境に配慮した商品を買いたい、暮らしの中に取り入れていく必要があると思います。

処分場をできるだけ長く使い、今の生活を守っていくために、事業団としては安心・安全な廃棄物処理事業を行うとともに、地球温暖化防止活動など良好な環境を守り創造するため、様々な事業を展開していきたく考えています。県民の皆さんは、環境に優しい生活を常に意識し、持続可能な社会を実現するために、「一人ひとりが「もったいない」の気持ちをもつて、ゴミの排出をセーブし、資源の無駄を省き、有効活用を考える。まずはそこから一緒に始めていきませんか？」

水島処分場では見学を受け入れています!!

廃棄物処理の流れを、グループ単位で随時見学することができます。安全かつ適正に処理するための工夫や機能を、詳しく見て聞いて、ゴミのゆくえんについて考えてみよう。



●見学できる施設

・水島埋立処分場 ・水島クリーンセンター
・倉敷市資源選別所

●見学に関する問い合わせ先

水島管理事務所
〒712-8074 倉敷市水島川崎通1-18
TEL. 086-440-0666 FAX. 086-444-2933



みんなで
行こう!
見てみよう!

キャンドルナイト in おかやま

～電気を消して、スローなひとときを～

キャンドルナイトは、カナダの自主停電運動がルーツ。電気を全部消してしまうと不便なので、日本ではキャンドルを灯すことにしたのだそう。今では地球に優しく、スローな時間を楽しめる活動として全国に広まっています。CO2の削減効果を考えるなら、一つの灯りをより多くの人で囲むことができるイベントに参加するのがおすすめ。身近なイベントに気軽に参加して、環境について考えてみよう!



キャンドルナイト おかやま

夏至の夜に開催される「キャンドルナイト おかやま」では、炎が揺らめく神秘的な雰囲気の中、岡山出身のアーティスト「心花(kokohana)」による、琴のライブなどが行われる。日常を少し抜け出して、スローな一夜を過ごしてみよう?

- 日時 6月21日(日) 18:00～21:00
- 場所 山陽新聞社さん太ホール前広場(岡山市北区柳町2-1-1)
- 内容 廃油キャンドル作り
・心花(kokohana)コンサート
- 問い合わせ先 環境学習センター「アスエコ」
TEL.086-224-7272(担当:山田)
- 主催 (財)岡山県環境保全事業団・岡山市

自然探検隊

写真:大阪府環境農林水産総合研究所 水生生物センター



タイリクバラタナゴ

本州のため池や川、水路など、流れの緩やかなところで生活する。藻や水の中にいる小さな昆虫を食べる。

西川の生きもの

岡山市内を流れる西川は、旭川中流から分岐している川。そのため、旭川に生息する生きものが見られます。今回は、西川の岩陰を泳いだり、砂地の中に隠れている、表情豊かな魚を紹介します。

ヌマムツ

湖や池、沼、川の中流から下流に生息。川の中にある昆虫や流れてくる昆虫などを食べる。



スジシマドジョウ

日本にしか生息しない種。ミジンコやイトミミズを食べる。



市街地でいろいろな魚が見れる!

市街地を流れる西川だが、美に多くの魚が生息する。清流を好むアユや、絶滅危惧II類のメダカも見られる。

たまに水草も食べるよ。

オイカワ

全国の川の中流から下流に生息。繁殖期には、オスは体色を青色とピンク色に変える。



海外では、韓国や中国、台湾にも仲間がいるよ。

しましまがきれいだよ。

ヤリタナゴ

日本の代表的なタナゴ。春から初夏の繁殖期には、オスは体色をピンク色と緑色に変える。



ハゼの仲間だよ。

アブラボテ

愛知県以西の小川や水路に生息。春から初夏の繁殖期には、オスは体色を「黒っぽい油の色」に変える。



ギンブナ

全国の川や湖、池に生息。形態的にギンブナと言えるフナ類はほとんどがメス。



一般的にフナと呼ばれるよ。

卵は貝に産みつけるよ。

なんでも食べるよ。

Column '09 お魚調査隊 in 西川緑道公園

身近な自然環境を知るために、網を片手に西川の支流を探索! アユやメダカをはじめ、22種類の生きものが確認できました。



川に入る前にルールの説明。



砂地や窪みの中に隠れている魚も。大人も一緒に探索に夢中!



つがえたよー!



淡水魚研究会のスタッフが魚の特徴を説明中。皆、視線が魚に釘付け!

西川には、カマツカ、オイカワ、ヌマムツ、メダカ、アユなどの淡水魚やエビ、カメの仲間が生息しています。また、アユなど、市街地を流れる川では珍しい種類の魚も見られる他、初夏にはホタルも観察でき、たくさん種類の生きものが生息していることがわかります。これは、西川の水質や周辺の

環境が守られているということ。今の西川では、さまざまな生きものを観察することができ、数十年前に「魚が1種類しか見えない」というような環境にしないためにも、身近な自然を守ることを一人ひとりが意識し、水をなるべく汚さない暮らしに、できることから取り組んでいきたいですね。

アスエコ水族館

8月3日(月)～8月31日(月)

昨年大人気だったアスエコ水族館が帰ってきます! 西川からやってくるお魚たちは驚くほど多彩。普段はなかなか気づきにくい、身近な自然環境や在来淡水魚の美しさに触れるチャンスです! (環境学習センター「アスエコ」 TEL.086-224-7272)

西川のお魚が大集合するよ! ぞうご期待!!

※上記イベントでは、地球にやさしいカーボンニュートラルなキャンドルを使用しています。

※倉敷市内で「キャンドルナイト」を企画中の人へキャンドルを配布中。詳しくは倉敷市役所地球温暖化対策室(TEL.086-426-3394)へ問い合わせを。



古き良きエコのはなし

vol. 9

団扇

うちわ

用途や意義は違えども、
古代より世界中の歴史に登場してきたうちわ。
今回はうちわに関する知恵をひもときます。

エアコンや扇風機が普及しても、一家に一本は必ずと言っていいほどあるうちわ。最近では、電気をわずかす手軽に涼を取り入れられる、夏の代表的なエコグッズとして認識されている。また、オリジナルの柄の素材を使って、マイうちわも作ることができるようになった。涼を呼ぶだけでなく、さまざまなイベントで配布される企業広告ツールにもなり、使用目的を変えて現在も私たちの身近にある道具である。

うちわが歴史に登場したのは、古代中国や古代エジプトの壁画に描かれている、はるか昔のこと。しかし当時は儀式や縁起中心で、現代の涼む道具としての原型は、室町時代に入ってから作られたと思われる。それから主に威儀具、戦の軍配などに使われ、江戸時代に入ってようやく、涼や炊事、おしゃべりや虫追いなど庶民の日常生活でも親しまれるようになった。

元禄時代に備中庭瀬(岡山市)でもうちわが生産された。県指定伝統的工芸品の「撫川うちわ」である。全体的に華奢で優美な

印象を与えるうちわだが、その特徴は「二つ。一つは「歌継ぎ」。扇の上部に草書体で俳句が横向きに書かれているが、雲形模様に見えるこの文字が、実は天地二枚別々の紙を貼り合わせた継ぎ目になっていて、うちわを光に透かすと文字が浮かび上がるのだ。もう一つは「すかし」である。花鳥風月などの地紙の模様を切り抜き、光を通すことで鮮やかに浮き出させる技法で、図柄の情趣をより効果的に表現している。また、粘り強く竹細工に最適とも言われる女竹の柄の先を、64の小骨に分割している骨組みは、軽やかな使い心地で柔らかい。二つ二つ丁寧な手仕事で作られる撫川うちわは、見る人の情趣を誘う伝統工芸品でありながら、快適な実用品でもあるのだ。

エアコンや扇風機が普及した昭和40年代後半以降、実用面での利便性は縮小していったうちわ。今こそ、「エコ」という以上に、心を豊かにしてくれるものであることに気付き、先人たちから受け継がれてきたうちわの大きな価値を手に入れたいものである。



手作りうちわは十人十色!



手作りうちわで涼を呼ぼう

環境学習センター「アスエコ」では、マイうちわ作りもできます。オリジナルのイラストを描いたり、ぬり絵をしたり、楽しいうちわ作りに親子で参加してみよう!

移動環境学習車の規格

- ・全長503cm、全幅193cm、全高278cm
 - ・1.5tトラック(ガソリンエンジン、AT車)
 - ・アルミ製箱型ボディ(両面電動式跳ね上げドア付き)
- ※普通自動車免許で運転できます。

利用形態

- ・環境学習出前講座
移動環境学習車で県内各地の学校や子供会などへ出向き、環境学習講座を行います。
- ・貸し出し
NPOや自治会などが自らの活動に使用する場合や、企業の社内啓発等で使用する場合に移動環境学習車を貸し出します。

見て触って体験して、環境問題を楽しく学ぼう!

移動環境学習車には、エネルギー学習、自然観察、環境調査など、さまざまな環境体験学習を実施するための、環境教材や測定機器などを搭載。大型モニターやスピーカーなどの映像音響装置、テントやテーブルなどの会場設営機材も搭載し、あらゆる場所で教室が実施できる。

NEXT STEP

私の街のエコ

私たちのまちのエコな事業所や団体を紹介するコーナー。さて、今回紹介する事業所は、どんな取り組みを行っているのでしょうか?



移動環境学習車 さんよう号

岡山県の環境学習の推進に役立てることを目的に、(株)山陽新聞社及び山陽新聞山陽会から寄贈。岡山県環境保健センターに配備し、学校、地域団体、NPO、市町村などの県内の団体に、移動環境学習教室として広く活用されている。

移動環境学習車の配置場所 及びお問い合わせ先
岡山県環境保健センター
〒701-0298 岡山市南区内尾739-1
TEL.086-298-2681
FAX.086-298-2088

エネルギー学習
車に搭載した太陽光発電システムや自転車型人力発電機、太陽熱を利用した調理体験などを通して、自然エネルギーの仕組みやその活用方法を楽しく学習します。

環境調査体験
マルチ環境計測器やCO₂計などを使った身近な場所の環境測定や、自動車の排気ガスの比較実験などを自ら体験し、環境問題についての理解を深めます。

自然観察
身近な山や川に入って生物を採取したり、サイエンススコープや大型モニターを使ってその拡大映像を観察し、生物の生態や自然保護の大切さを学習します。

※荷室上部の太陽電池
発電した電力を使って電気機器を動かしたり、表示パネルで発電量を確認できます。

実践! エコライフ! 手作り廃油キャンドル

自分だけのオリジナル・キャンドルが手軽に作れる! 夏の夜は、自宅でゆったりキャンドルナイトを楽しんでみては?

用意するもの

- ・廃油(こしたもの)
- ・古新聞
- ・タコ糸
- ・固めるテンプレ(廃油500mlに1包)
- ・ガラス容器 など
- ・アロマオイル(お好みで)

作り方



① 鍋にこした廃油を入れ、加熱します。(油に不純物が残っているとキャンドルから黒煙が出るのでよくこす)

② 割りばしにタコ糸をはさみ、下部が容器の底にくるようにします。



③ 80~100度まで加熱しながら、クレヨンを削り入れ、彩色します。



④ クレヨンが溶けたら火を止め、固めるテンプレを入れ、かき混ぜます。(このときアロマオイルで香り付けしてもよい)



⑤ お気に入りの容器に慎重に注ぎ込みます。(水を張ったボウルで容器を急冷してもよい。2層にする場合は、1層の表面が固まってから、更に慎重に注ぎ込む)

出来上がり



固まり次第、割りばしを外し、芯を1cmくらいの長さにカット。